

大阪府作業療法士会 教育部老年期領域チーム 研修案内  
『介護予防支援における作業療法士の役割 ～多職種協働アプローチの実践～』

教育部老年期領域チーム 長谷川 誠（介護老人保健施設 よどの里）

日本は今や超高齢社会へと突入し、内閣府の「平成 30 年版高齢社会白書」によると 2025 年時点で高齢化率は 30%を超えると推計されています。高齢化が進展するとフレイル有症者が増加することが懸念されており、地域での介護予防支援は喫緊の課題です。介護予防に取り組む対象者は、「どんな生活行為がしてみたいか」「今後どんな自分でありたいか」などの主体的な想いや動機づけを継続することが重要となり、作業療法士は、その具体的な生活目標の設定や評価、各種支援プランでの関与ができる職種と言えます。

今回は、関西福祉科学大学 准教授 由利 禄巳 先生をお招きし、予防領域における作業療法士の役割や支援方法の実際についてご講義いただきます。由利先生は、行政機関との協働で介護予防・日常生活支援総合事業の関わりを持たれ、地域ケア会議を通じた多職種協働アプローチの実践など要支援者等に対する作業療法の有用性をお話しいただけたと思います。

地域高齢者が、人・作業・環境の繋がりを通じて自立支援に資する活動が継続でき、役割や生き甲斐を持って生活できるよう、共に学んでいきましょう。

皆さまのご参加をお待ちしております。

日時：令和 1 年 8 月 4 日（日）10 時 00 分～13 時 00 分（受付開始 9 時 30 分）

会場：ウェルおおさか 大阪市社会福祉研修・情報センター 4 階会議室

（住所：〒557-0024 大阪市西成区出城 2-5-20）

講師：由利 禄巳 先生

（関西福祉科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 准教授）

定員：70 名（定員に達し次第、申し込み終了とします。）

参加資格（作業療法士に関して）：日本作業療法士協会ならびに所属都道府県士会の令和 1 年度会費納入者 ※会費未納者の方はご参加頂けませんので、ご了承ください。

参加費：1.大阪府士会員(令和 1 年度年会費納入者) 2,000 円

2.他府県士会員およびその他関連職種 3,000 円

生涯教育ポイント：2 ポイント

申込方法：以下の申し込み専用フォームからお申し込み下さい。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/5684b2da620448>

申し込み締め切り：令和 1 年 7 月 31 日（水）

※参加不可の場合のみ連絡させていただきます。

